

## (仮称) 保健所・保健センター整備事業について

— 茅ヶ崎市みどり審議会 —

# 概要

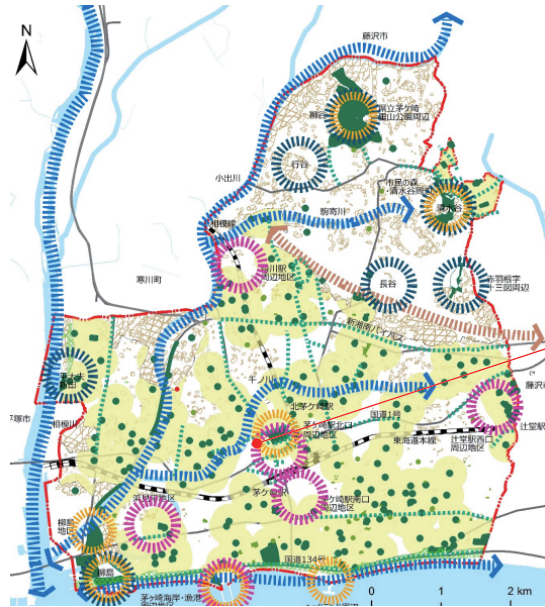
## ■計画概要

計画地は茅ヶ崎駅北側の中央通り（県道 45 号線）沿いの、集客施設と行政施設の間に位置しています。

この敷地は茅ヶ崎市景観計画において、茅ヶ崎駅北口周辺特別景観まちづくり地区の「行政文化街区」に属し、市の行政文化活動の中心として象徴性や風格のある都市景観が求められています。また、みどりの基本計画で定める「公園・緑地が身近に利用できる地域」に属し、中央公園を含む緑のネットワーク形成が求められています。

茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例の「24 条：緑地（敷地面積の 5%）」と「36 条：緑化（敷地面積の 15%）」の基準を満たす植栽計画とします。

（仮称）茅ヶ崎市保健所・保健センターは、感染症対策事業や食品衛生業務を中心とし、母子保健業務やがん検診などの市民サービスも実施する施設となります。



保健所・保健センター計画地

- 凡例
- 都市公園・緑地
  - 公園・緑地が身近に利用できる地域
  - 保存樹木・樹林
  - 保安林
  - 農地
  - 街路樹
  - 拠点となる生きものの生息・生育空間
  - レクリエーションの拠点となる地域
  - 景観拠点となる地域
  - 陸域の生態系ネットワーク
  - 河川・海岸の生態系ネットワーク

【みどりの総合的な配置方針図】

## ■建築概要

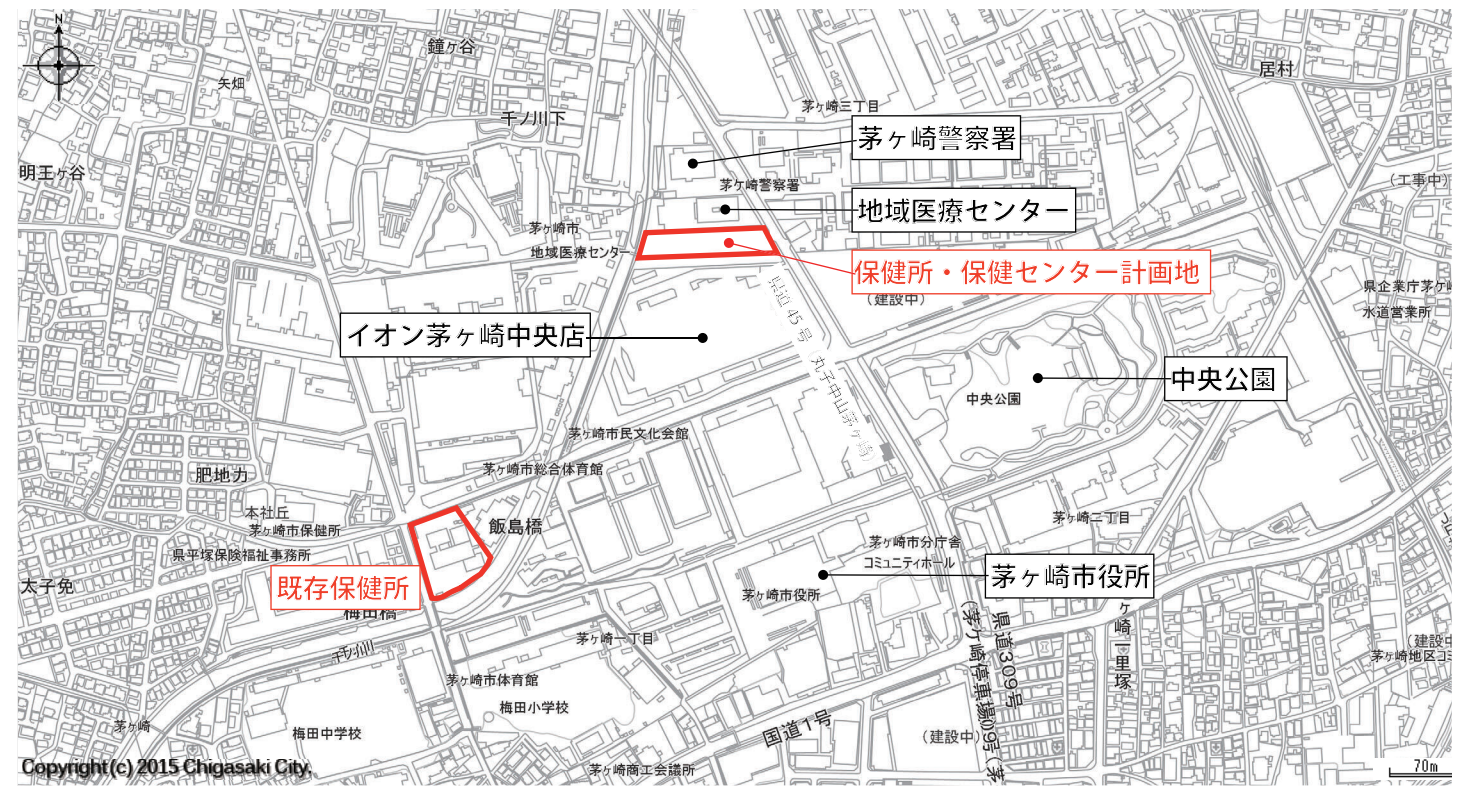
計画地 : 茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目 994 番 4  
 敷地面積 : 3306.62 m<sup>2</sup>  
 用途地域 : 工業地域  
 防火地域 : 法 22 条区域  
 その他 : 第 4 種高度地区、茅ヶ崎駅北口周辺特別景観まちづくり地区

|                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 前面道路幅員 : 15m          | 建築面積 : 約 1418 m <sup>2</sup> |
| 基準建ぺい率 : 60%          | 建蔽率 : 約 42.89%               |
| 基準容積率 : 200%          | 延床面積 : 約 4500 m <sup>2</sup> |
| 用途 : 保健所              | 容積率 : 約 136.09%              |
| 構造 / 階数 : S 造 / 4 階建て | 自動車駐車台数 : 32 台               |
| 建物高さ : 約 19.10m       | バイク駐車台数 : 15 台               |
|                       | 駐輪台数 : 97 台                  |

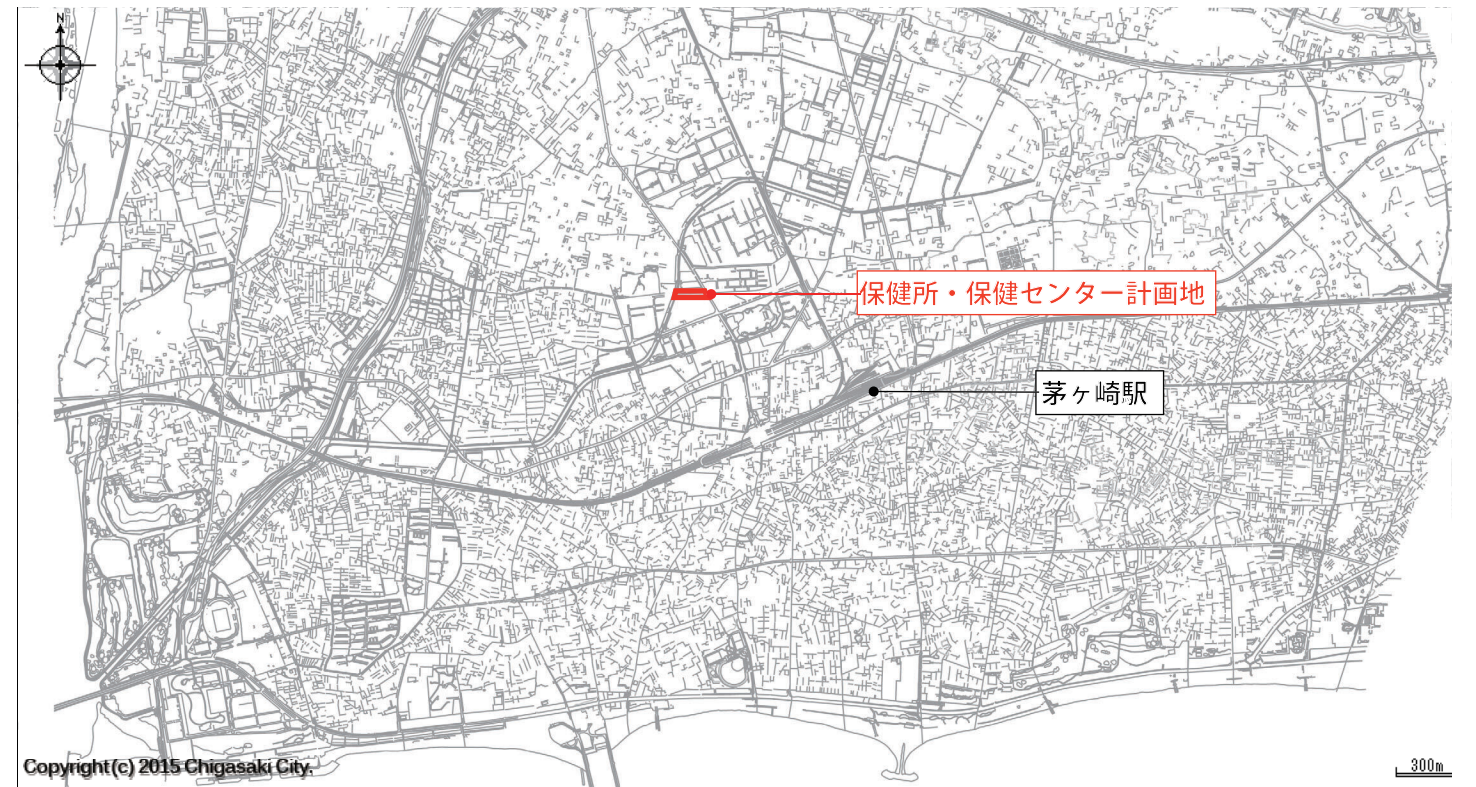
## ■スケジュール

設計期間 : R.5~R.6  
 工事期間 : R.7~R.8

## ■案内図



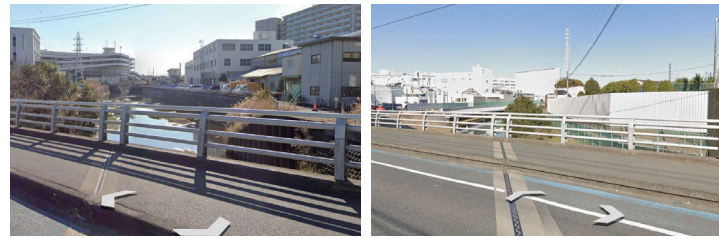
【案内図】



【広域図】

■みどりのネットワーク

・イオン前交差点から新千ノ川橋に至る、県道沿いの緑のネットワークづくりに貢献します。



①新千ノ川橋



②敷地付近



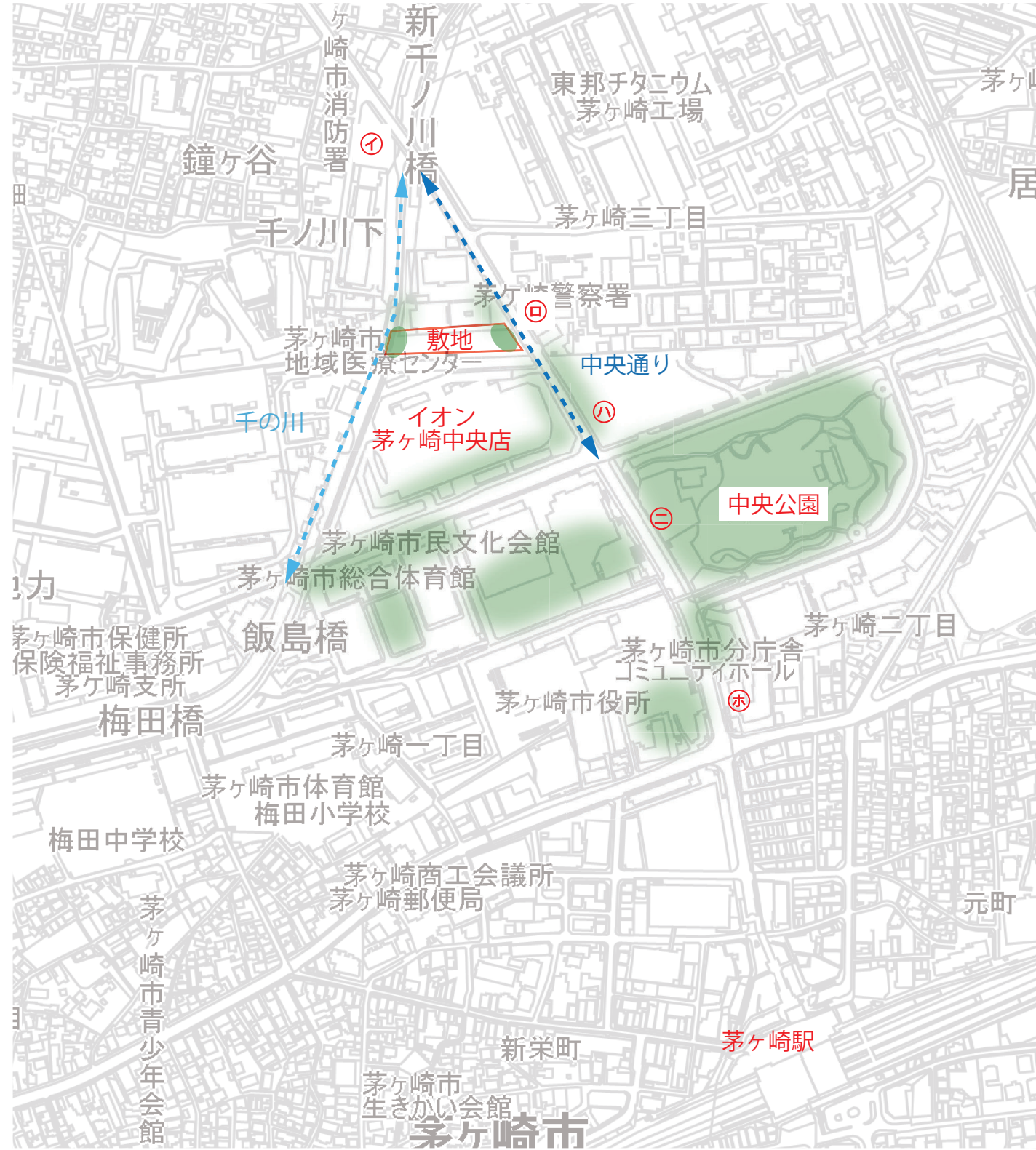
③交差点付近



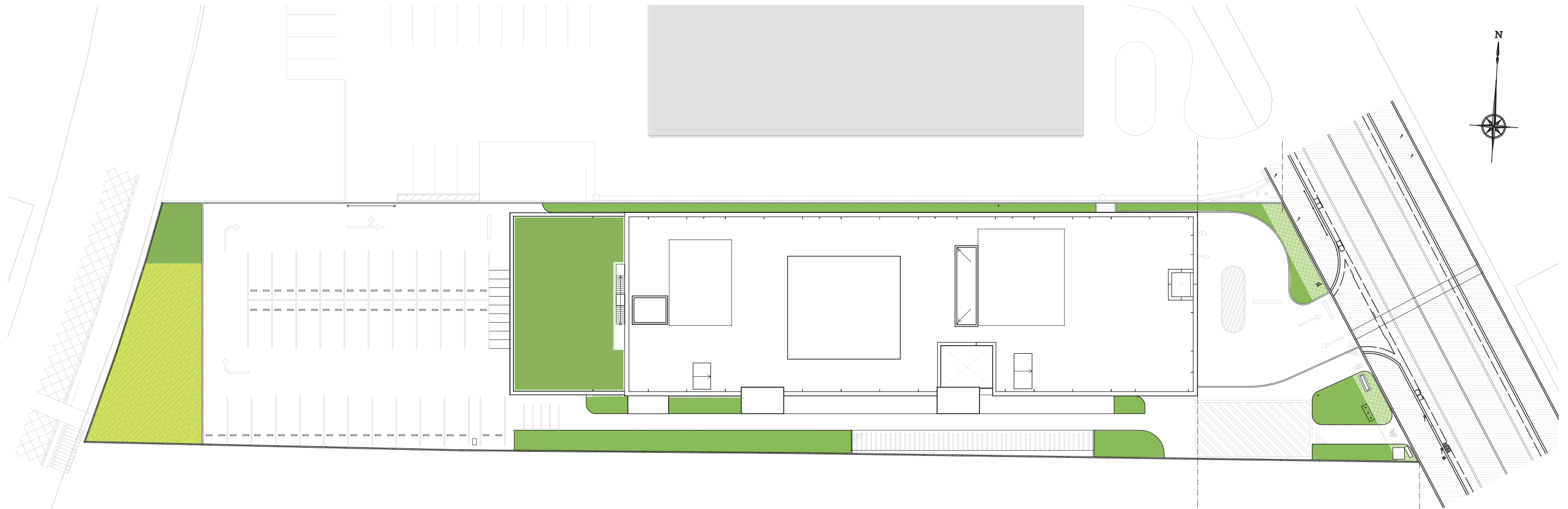
④中央公園周辺



⑤駅からのアプローチ



■面積算定



凡例

- 茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例 24 条の緑地
- 茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例 36 条の緑化
- 茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例 36 条の緑化 道路境界線から 2m 以内の部分

| 名称                      | 計画面積                   |                       | 必要面積                                |
|-------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| 敷地面積                    | 3306.62 m <sup>2</sup> |                       |                                     |
| 24 条緑地面積                | 165.57 m <sup>2</sup>  |                       | 165.34 m <sup>2</sup> (3306.62×5%)  |
| 36 条緑化面積                | 449.88 m <sup>2</sup>  | 513.20 m <sup>2</sup> | 496.00 m <sup>2</sup> (3306.62×15%) |
| 道路境界線から 2m 以内の 36 条緑化面積 | 63.32 m <sup>2</sup>   |                       |                                     |

■植栽計画コンセプト

- ・隣接する地域医療センターと同様の植栽ゾーニングとすることで、まとまりのある緑のボリュームを形成します。
- ・中央通り沿いと千ノ川沿いに植栽空間を確保します。
- ・千ノ川側は将来的に大きくなる樹種を選択し、緑の水辺景観をつくります。
- ・屋上緑化にはメンテナンス性に優れた樹種を選定し、維持管理にも配慮します。
- ・中央通り側にはアイキャッチとなる高木を植え、シンボルツリーとします。
- ・耐潮性のある樹種を選定します。

メンテナンス性を考慮した植栽

- ・乾燥と暑さに強く、手入れの楽な樹種を選定します。



ギンバイカ シャリンバイ トベラ

メンテナンス性を考慮した植栽

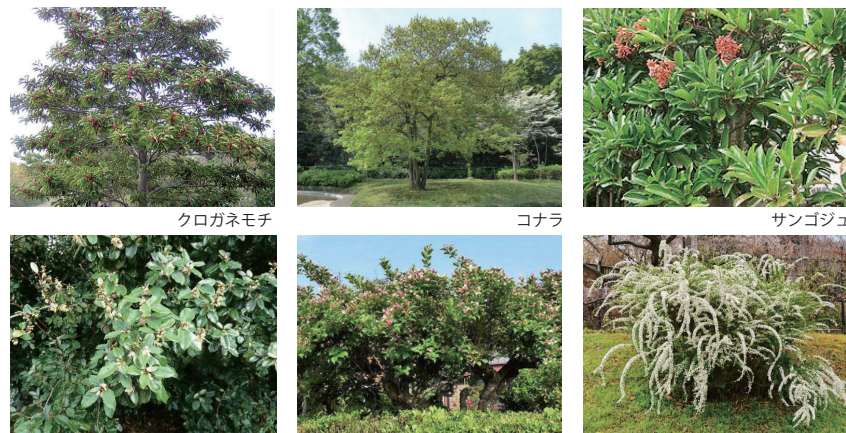
- ・狭い空間でも花を楽しめる、手入れの楽な小低木を選定します。
- ・車両動線に面してシンプルな植栽計画とします。



アベリアエドワードゴージャ

工場の目隠しともなるヴォリューム感のある植栽

- ・川風に強い樹種を選定します。
- ・在来の常緑広葉樹を主体とし、花も楽しめる計画とします。



クロガネモチ コナラ サンゴジュ ナワシログミ ハコネウツギ ユキヤナギ

メンテナンス性を考慮した植栽

- ・日当たりが悪い場所でも育ちやすい樹種を選定します。
- ・細長い植栽地を楽しめるように、歩行空間に対してリズムをつくる植栽配置とします。



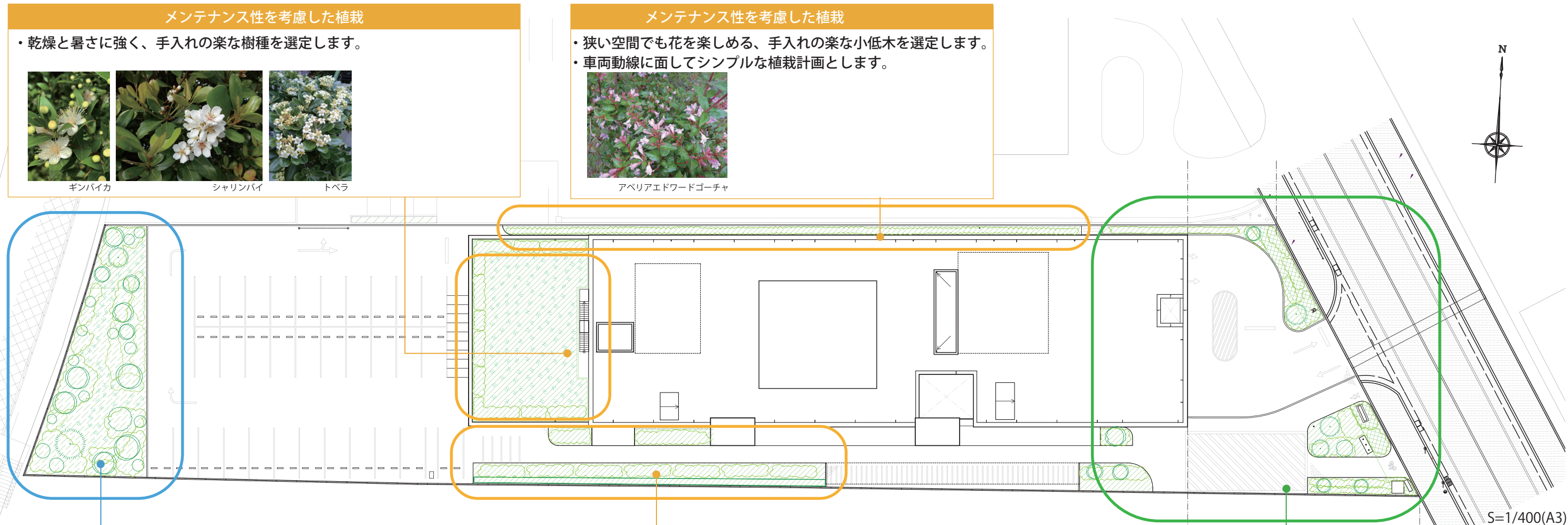
ベニバナアセビ ヒラドツツジ イヌマキ ホソバヒイラギナンテン

県道沿いで季節を感じさせる植栽

- ・道路沿いのため、夏季の暑さに耐える樹種を選定します。
- ・エントランスとして楽しくなる、色を感じる樹種を選定します。
- ・四季それぞれを楽しめる樹種を選定します。



サルズベリ コブシ株立ち ソヨゴ オタフクナンテン ジンチョウゲ ファイヤブラン



■ 景観アドバイザー意見

屋上緑化の植栽計画

- ・ローメンテナンスかつ土量が少なくてよい植物としてヤブラン、アセビ、シャリンバイ、タマリユなどがよいのではないか。  
→左記の植物を選定する。

敷地北側の植栽計画

- ・メンテナンス性に加え日陰などでも生育することができる樹種を選ぶとよいのではないか。  
→メンテナンス性や日照環境を考慮し、ヤブラン、リュウノヒゲ、フッキソウなどを選定する。

シンボルツリー以外の道路沿いの植栽

- ・シンボルツリーと同様に葉の密度が建物の外観を阻害しない樹種を選定するとよい。またシンボルツリーを引き立たせるために、シンボルツリーとは異なる樹種の方がよい。  
→道路沿いの植栽は、歩行者の安全性を確保する上で、地域医療センターから出庫する車両の視認性を確保する。シンボルツリーとの対比も考慮し、エゴキヤソヨゴなどを選定する。

敷地西側の植栽計画

- ・アラカシやスダジイだけで構成すると暗い印象となるため、葉の密度の薄い中高木や常緑と落葉を混ぜるとよい。  
→中高木としてはヤマザクラ、イロハモミジ、アオダモ、アオハダ、クヌギ、コナラなどを混ぜる。駐車場に面する灌木としてはヤマブキ、ウツギ、アセビ、ジンチョウゲ、ユキヤナギ、オオデマリ、コデマリなどを選定する。

敷地南側の植栽計画

- ・灌木で構成するパターンと、地被植物で構成するパターンが考えられる。歩行者や自転車が踏んでしまう恐れのある箇所に地被植物を植える場合は注意が必要。ツツジは機械刈りを行うと花が咲かなくなるため避けた方がよい。  
→メンテナンス性を考慮し、シャリンバイやトベラ、オタフクナンテンなどを選定する。地被植物を植える際はリュウノヒゲなどとする。

シンボルツリーの植栽計画

- ・シンボルとしてある程度の大きさがあり、存在感のある株立ちの樹木が良いのではないか。  
・葉の密度が建物の外観を阻害しない樹種にするとよい  
・地域医療センターと樹種を揃えるのではなく、同じ時期に花が咲く樹木としてはどうか。  
→大きさや葉の密度を考慮して株立ちのコブシを選定する。
- ・シンボルツリーの足下は灌木ではなく、地被植物とした方がシンボルツリーや建築がひきたつのではないか。  
→シンボルツリーとの対比を考え、地被植物であるヤブラン、タマリユ、ツワブキ、コニファーなどを選定する。

